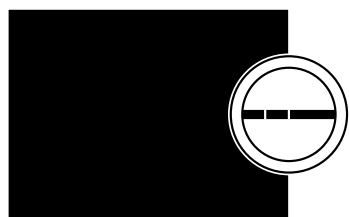


BeoSound 5 Encore

ガイド



BANG & OLUFSEN

お客様へ

このガイドには、お使いの製品の機能と特徴について、スタートアップガイドに追加される情報が説明されています。

これらの追加情報には、この製品のセットアップ方法、Bang & Olufsen リモコンを使った操作方法、およびデジタル音楽ソースの使い方が含まれます。

このガイドは、ソフトウェアのアップデートによって追加される新機能や特徴をすぐに反映できるよう、定期的にアップデートされていきます。

この製品についての詳しい情報は、www.bang-olufsen.com/faqにあるFAQ(お問い合わせ)でもご覧になれます。

目次

メニューの概要, 4

ディスプレイメニューの一覧。

本体操作, 5

ミュージックシステム操作/パネルのご使用方法。

Beo5またはBeo6を使った操作方法, 6

Beo5またはBeo6リモコンの使い方。

Beo4を使った操作方法, 7

Beo4リモコンの使い方。

言語を変える, 8

ディスプレイ言語の変更方法。

起動時間を変える, 9

POWER SAVING モード設定の変更方法。

ソフトウェアのアップデート, 10

このミュージックシステムで使われているソフトのアップデート方法。

暗証コードシステム, 11

暗証コードの使い方。

サウンド設定の変更, 13

バランス、バス、トレブルなどの調整方法。

設定を保存する, 14

SERVICE SETTINGS メニューの内容。

ネットワーク設定, 15

NETWORK SETTINGS メニューの内容。

選択とオプションの設定, 17

音源の選択変更とソース名の変更方法、およびオプション設定。

音楽ソースの準備, 18

音楽ソースを再生可能にする方法。

カラーリストとナンバーリスト, 24

プレイリストの作り方。

MOTS, 25

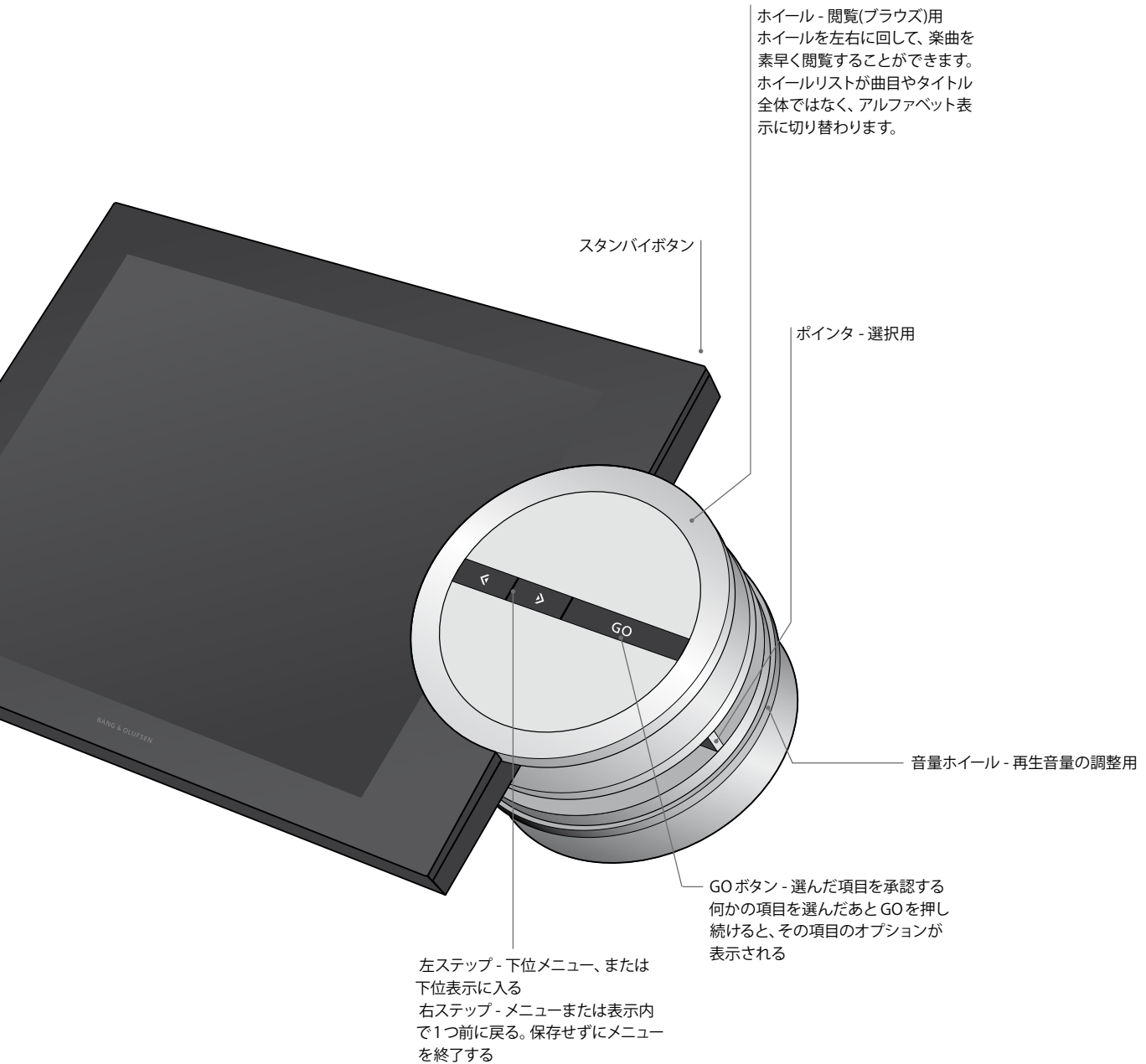
MOTSの詳しい内容について。

メニューの概要

A.MEM (USB - 正面)	COVERS	
	ARTISTS	
	ALBUMS	
	TITLES	
	FAVOURITES	
	QUEUE	
N.MUSIC/CD (イーサネット/USB - 背面)	COVERS	
	ARTISTS	
	ALBUMS	
	TITLES	
	FAVOURITES	
	QUEUE	
RADIO	GENRES	
	LANGUAGES	
	COUNTRIES	
	NAMES	
	FAVOURITES	
A.AUX (line-in)		
SETTINGS	SOUND	VOLUME
		BALANCE
		BASS
		TREBLE
		LOUDNESS
	SYSTEM SETTINGS	LANGUAGE
		POWER SAVING
	MAINTENANCE	UPDATE SOFTWARE
		AUTOMATIC SOFTWARE UPDATE
		RESCAN MUSIC STORAGE
		LATEST RELEASE INFORMATION
		ABOUT
		CHANGE PINCODE
	SERVICE SETTINGS	N.RADIO BUFFER
		MOTS
		音楽ストレージ
	NETWORK INFO	
	NETWORK SETTINGS	
	ROLES	>>MUSIC STORAGE NAME<< (ここで、音楽の保存場所を、N.MUSICまたはCDボタンに設定できます。)

本体操作

このミュージックシステムは、本体上で操作が行なえるよう設計されています。音楽ファイルやラジオ局の閲覧、選択ができます。



Beo5 または Beo6 を使った操作方法

Beo5 または Beo6 を使う時は、このミュージックシステム用の設定を各リモコンに施さなければいけません。販売店にお問い合わせください。



Beo4を使った操作方法

このミュージックシステムは、Beo4リモコンを使っても操作できます。

Beo4 ディスプレイには、オンになっているソースや機能の名前が表示される

- N. MUSIC** N.MUSIC が起動します。N.MUSIC が表示されていない場合、LIST を押すと N.MUSIC が Beo4 に表示されます。機能リストへの追加方法については、Beo4 に付属のガイドをご参照ください。
- A.AUX** A.AUX 音源(ラインイン接続音源)が起動します。LIST を押すと、A.AUX が Beo4 ディスプレイに表示されます。
- MOTS** 再生中の曲が MOTS のシードに適用されます。LIST を押すと、MOTS が Beo4 ディスプレイに表示されます。
- RADIO** ラジオをオンにする
- CD** ボタンに設定された音源が起動します。[17ページ参照。](#)
- A.MEM** ミュージックシステムの正面に接続された USB ソースが選択されます。
- 1-9** 再生したいナンバーリストを選ぶ
- LIST** Beo4 ディスプレイに、機能またはソースを選ぶための補助的“ボタン”を表示させる。
へまたは ♡ を押して、このリストから項目を選んだあと、センターボタンを押して承認する
- <◇>** センターボタン兼ナビゲーションボタン。選択を承認する、または LIST メニュー内を移動する
- ◇** 曲、または局を送っていく
- ◀▶** アルバムを送っていく
- Colorful Buttons** 曲またはラジオ局を集めたカラーリストを選ぶ
続けて番号ボタンを押すと、特定のラジオ局が選べる
- ◇** 音量を調節する
ボタン中央を押すと、スピーカーからの音が消える
- STOP** 再生を停止する
- PLAY** 押して再生を開始する。押し続けると演奏中の曲が MOTS の種となる
項目の選択や設定の承認にも使われる
- システムをスタンバイにする

言語を変える

このミュージックシステムのディスプレイで使われる言語は、いつでも変更することができます。

メニュー言語が選択されると、メニューおよび表示されるメッセージは、すべてその言語で表示されます。

このミュージックシステムのディスプレイで使われる言語を、好きなものに変更することができます。

言語を変更するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、SYSTEM SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してLANGUAGEを選び、GOを押す。
- > ホイールを回して好きな言語を選んだあと、GOを押してその設定を保存する。あるいは…
- > …→を押すと、保存することなくメニューが終了する。



SYSTEM SETTINGSメニューで、好きな言語を選ぶことができます。選ぶと同時に、ディスプレイの表示はその言語に切り替わります。上の図は英語の例です。

起動時間を変える

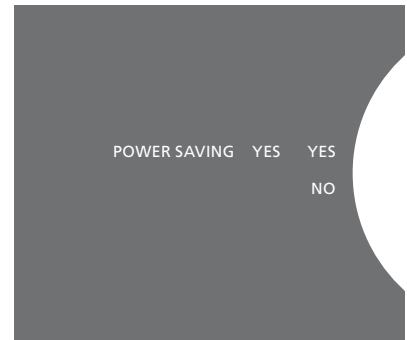
このミュージックシステムを、より短い時間で起動させたい場合は、スタンバイ時の電力消費量を変更します。

スタンバイ時の電力消費量を変更することで、起動時間を速めることができます。

電力消費量を変えるには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、SYSTEM SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してPOWER SAVINGを選び、GOを押す。
- > ホイールを回してYESまたはNOを選んだあと、GOを押す。
- > ポインタを使い、メニューを終了させる。

POWER SAVINGメニューをNOに設定すると、スタンバイ時の電力消費量が増えるのでご注意ください。



SYSTEM SETTINGSメニューで、スタンバイ時の電力消費量を変えることができます。新たな設定は、即座にディスプレイに表示されます。上の図ではYESが選ばれています。

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアは‘手動’でアップデートできますし、新しいソフトが準備された時、システムに自動でアップデートさせることもできます。

ソフトウェアのアップデート中は、このミュージックシステムを電源から抜かないでください。

ソフトウェアのアップデートを、手動で行なうかシステムに自動で実行させるか、選ぶことができます。

手動でソフトウェアをアップデートするには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCE を強調表示させる。
- > ホイールを回して UPDATE SOFTWARE を選び、GO を押す。
- > ディスプレイに Bang & Olufsen のロゴと、‘Checking for new software - Press GO to cancel’ というメッセージが表示される。
- > ソフトウェアのアップデートが完了したら、‘Download completed’ というメッセージが表示される。もし新しいソフトウェアがなかったら、代わりに ‘No new software update available’ と表示される。
- > ミュージックシステム本体上のスタンバイボタンを押し、システムをスタンバイ状態にしたあと、システムが自動的に再起動して新しいソフトウェアを読み込むまで待つ。

注意！ 手動によるソフトウェアアップデートを行なっても、‘AUTOMATIC SOFTWARE UPDATE’ の設定には何の影響もありません。

注意！ 手動によるソフトウェアアップデートを行なうと、再生中の音楽は影響を受けます。

自動でソフトウェアをアップデートするには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCE を強調表示させる。
- > ホイールを回して AUTOMATIC SOFTWARE UPDATE を選んだあと、YES を選ぶ。工場出荷時、この設定は無効にされている。
- > ‘AUTOMATIC SOFTWARE UPDATE’ を有効にするには、ホイールを回して ENABLED を選んだあと、GO を押して保存する。
- > ポインタを使い、メニューを終了させる。

注意！ ‘AUTOMATIC SOFTWARE UPDATE’ の設定は、有効にしておくことをお勧めします。もしこの設定が無効になっていると、新しいソフトウェアがダウンロード可能になっていても、システムが自動でその新しいソフトを探しに行けません。

ご注意!ご使用のミュージックシステムには、タイムソースが内蔵されていません。このため、ミュージックシステムは、個々のスケジュールに基づいて8日毎にソフトウェア更新を自動的にチェックして、その他の BeoSound 5 Encore システムとは同期されません。

暗証コードシステム

好きな暗証コードを設定し、暗証コードシステムをオンにすることができます。暗証コードを削除すると、暗証コードシステムもオフになります。

暗証コードシステムをオンにしているこのミュージックシステムが、約30分を超えて電源から切り離されると、スイッチをオンにしても暗証コードを入力しない限り使用できません。

暗証コードが入力されないと、このミュージックシステムは約3分間待ったのち、自動的にスタンバイとなります。

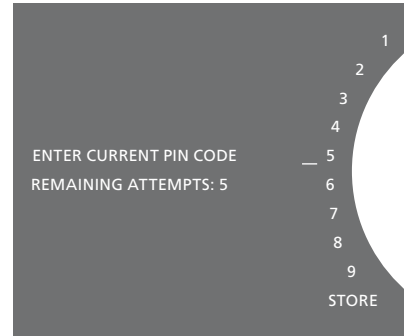
暗証コードシステムをオンにするには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCEを強調表示させる。
- > ホイールを回してCHANGE PINCODEを選び、GOを押す。
- > ホイールを回して文字を選び、GOを押して各文字を承認しながら4ケタの暗証コードを設定する。間違った文字を選んだ時は、右矢印を使うと削除できる。すべての文字を削除すると、そのコードはキャンセルされる。
- > ホイールを回してSTOREを選び、GOを押す。
- > 設定した暗証コードを再入力しながら、各文字をGOを押して承認する。
- > ホイールを回してSTOREを選び、GOを押す。

暗証コードシステムをオフにするには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCEを強調表示させる。
- > ホイールを回してCHANGE PINCODEを選び、GOを押す。
- > ホイールを回して現在のピンコードを入力し、GOを押すと各数字が確定されます。右矢印ボタンを押して、すべての数字を削除および保存を選択できます。これでピンコード保護は無効となります。
- > ここで再び、暗証コードを'空白'に設定する必要があります。この状態のまま、ホイールを回してSTOREを選びGOを押すと、空白の暗証コードが設定される。

もしも、誤った暗証コードを5回以上入力すると、以後の3時間、このミュージックシステムの操作は一切できなくなります。



暗証コードを変更するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCEを強調表示させる。
- > ホイールを回してCHANGE PINCODEを選び、GOを押す。
- > すでに暗証コードシステムがオンになっているのであれば、まず現在の暗証コードを入力する必要がある。そのためには、ホイールを回して文字を選び、GOを押して各文字を承認しながら、設定済みの暗証コードを入力する。間違った文字を選んだ時は、右矢印を使うと削除できる。
- > ホイールを回してSTOREを選び、GOを押す。
- > 改めてホイールを回し、新しい4ケタの暗証コードを入力しながら、GOを押して各文字を承認していく。間違った文字を選んだ時は、右矢印を使うと削除できる。
- > ホイールを回してSTOREを選び、GOを押して新しい暗証コードを保存する。
- > 設定した暗証コードを再入力しながら、各文字をGOを押して承認する。
- > ホイールを回してSTOREを選び、GOを押す。

暗証コードは、3時間以内に10回までしか変更できません。

ご参考までに …

このミュージックシステムを初めてオンにした時、システムから暗証コードの入力を求められ、しかも Bang & Olufsen 販売店から暗証コードを受けとっていなかった場合は、そのまますぐ販売店にご連絡ください。

ご自分の暗証コードを忘れてしまった場合は、Bang & Olufsen 販売店へご連絡いただくと、Bang & Olufsen の Mastercode をご提供します。Mastercode を使うと、このミュージックシステムを再びオンにすることができます。

サウンド設定の変更

好みのサウンド設定を、プリセットできます。設定を保存すると、このミュージックシステムはスイッチを入れられるたび、保存した設定で再生を開始します。

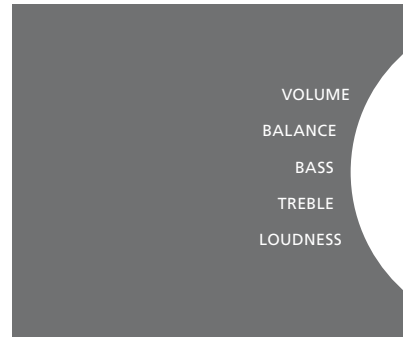
工場出荷時、サウンドは、ほとんどのリスニング環境に適合するよう、中間の位置に設定されています。

音量、バス(低音)、トレブル(高音)を調整する

サウンドの再生音量、バス、トレブル、およびバランスを設定することができます。ラウドネス機能は、音量が小さな時、高域および低域の周波数に対し人間の耳の感度が鈍るのを補正します。高域と低域が強調されますので、小さな音量でのサウンドの迫力が増大します。

サウンドを設定するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、SOUNDを強調表示させる。
- > ホイールを回して、VOLUME、BALANCE、BASS、TREBLE、LOUDNESSの中から、調整したいサウンド項目を選んだあと、GOを押す。その項目の現在のレベルが、'ホイール上'に示されている。
- > ホイールを回してレベルを調整したあと、GOを押せば、その設定が今後常に適用される。あるいは…
- > … → を押すと、その設定が一時的に適用される。



サウンドの調整中、スピーカーからは調整中のレベルに応じた音が発せられます。

音量0で、サウンドは消えます。音量0、または音量75以上で、サウンド設定を保存することはできません。

設定を保存する

SERVICE SETTINGS メニューで、ラジオのバッファ時間を増大させたり、MOTS機能をオフにできます。

ご使用の音楽ストレージの選択方法については、[22 ページをご覧ください。](#)

N.RADIO バッファ

インターネットラジオを聞いていて、サウンドが途切れてしまうような時は、バッファ時間を増大させることで、不安定なインターネット接続またはネットラジオストリームを最適化することができます。

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、SYSTEM SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して N.RADIO BUFFER を選び、GO を押す。
- > ホイールを回してバッファの長さを秒単位で選んだあと、GO を押す。

バッファ時間を長くすると、N.RADIO の起動時間も長くなることがあります。

MOTS機能をオフにする

MOTS 機能は、現在演奏中の曲を元にして、同様の曲を選びながらエンドレスのプレイリストを自動的に生成していきます。MOTS 機能は、工場出荷時にオンにされています。とはいえ、そのつど自分で選んだ曲だけを聴きたい場合は、MOTS 機能をオフにすることもできます。

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、SYSTEM SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してMOTSを選び、GO を押す。
- > ホイールを回して DISABLED を選び、GO を押す。

MOTSをオフにすると、プレイリストに手動で追加された曲だけが演奏されるようになります。[MOTSについて、詳しくは25ページをご覧ください。](#)

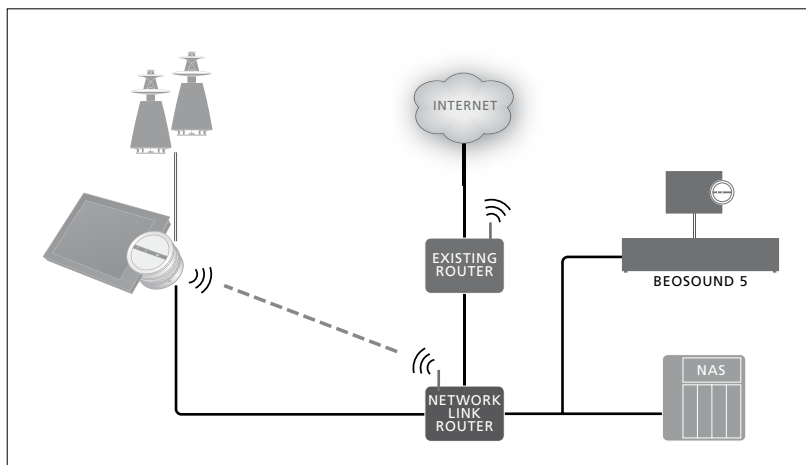
ネットワーク設定

このミュージックシステムを、ケーブル接続またはワイヤレス接続で、ネットワークに接続することができます。最も安定したネットワーク接続を得るため、Bang & Olufsen は、ケーブルを使った接続を推奨します。

また Bang & Olufsen は、デジタル音楽を安定して再生するため、別個のルータ(Network Linkルータ)とアクセスポイントを使用することもお勧めします。

Bang & Olufsen のネットワーク設定について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

ご使用いただける音源の詳細については、[18ページをご覧ください。](#)



ケーブルを使った接続

イーサネットケーブルの片方の端を Network Linkルータに接続し、もう一方をこのミュージックシステムのイーサネット端子に接続します。DHCP機能がデフォルトで有効になっているため、ミュージックシステムは自動的に正しいネットワーク設定を行ないます。もしDHCP機能が無効になっていたら、'自動でネットワークに接続するには…'の項を参照してください。

もしも、何らかの理由でIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSサーバが自動的に割り当てられない場合は、'手動でネットワークに接続するには…'の項を参照してください。

自動でネットワークに接続するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、NETWORK SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してADVANCEDを選び、GOを押す。
- > ホイールを回してDHCPを選び、GOを押す。
- > ホイールを回してENABLEDを選び、GOを押す。これでシステムは、接続されたネットワークに対し正しく設定される。


手動でネットワークに接続するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、NETWORK SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してADVANCEDを選び、GOを押す。
- > ホイールを回してDHCPを選び、GOを押す。
- > ホイールを回してDISABLEDを選び、GOを押す。
- > ホイールを回して、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバを選んだあと、GOを押す。
- > ホイールを回して数値を選んだあと、GOを押す。
- > 必要とされる各メニュー項目で、同じ作業を繰り返す。

ワイヤレス接続を行なう

WPS (wi-fi protected setup)を使えば、ネットワークへのワイヤレス接続は自動で行なえますし、ご使用のネットワークルータにWPS機能がない場合は、手で接続が行なえます。以下の説明は、ネットワーク内でDHCPがオンになっていることを前提としています。

自動でネットワークに接続するには…

- > Network LinkルータのWPS ボタン  を押し、WPS機能をオンにする。
- > ポインタを使い、ミュージックシステムのMODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、NETWORK SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してWIRELESS - WPSを選び、GOを押す。
- > ミュージックシステム本体上に、使っているルータのネットワーク名と共に‘CONNECTED’というメッセージが表示されるのを待つ。これでシステムは、接続されたネットワークに対し正しく設定される。

手動でネットワークに接続するには…

- > ポインタを使い、ミュージックシステムのMODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、NETWORK SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回してWIRELESS - AUTOを選び、GOを押す。
- > ネットワークルータの名称リストが、表示されるのを待つ。
- > 使っているネットワークルータ名を選び、GOを押す。*1
- > 使っているワイヤレスネットワークのパスワードを入力し、GOを押す。ミュージックシステム本体上に、使っているルータのネットワーク名と共に‘CONNECTED’というメッセージが表示されるのを待つ。これでシステムは、接続されたネットワークに対し正しく設定される。

* もし、使っているネットワークルータの名称がリストに表示されない場合、そのネットワークルータは、SSID非表示に設定されている可能性があります。もしそうであれば、WIRELESS - AUTOの代わりにWIRELESS - MANUALを選んだあと、国名を選んでGOを押してください。その後、ホイールを使ってSSID、ネットワーク暗号化方式、そのワイヤレスネットワーク用のパスワードを入力していき、最後にGOを押します。より詳しい情報については、ネットワークルータに付属するガイドを参照してください。

Network Linkルータに関する詳しい情報は、Network Linkルータに付属するガイドを参照してください。

このミュージックシステムは、5 GHzのwi-fi WLAN 802.11 a/nに対応しています。もしご使用のネットワークルータが、5 GHzに対応していない場合、このミュージックシステムはワイヤレス接続を行なえません。詳しくは販売店にお問い合わせください。

ネットワーク情報を確認する

お使いのネットワークにどのような設定がされているかを、NETWORK INFOメニューで確認することができます。

- > ポインタを使い、ミュージックシステムのMODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、NETWORK INFOを強調表示させる。これで、ネットワーク設定の状況が確認できる。

選択とオプションの設定

ROLES メニューを使うと、リモコンのどのボタンで N.MUSIC のソースをオンにするか、変更することができます。

N.MUSIC ボタンを押すと、UPnP 端子に接続される N.MUSIC 音源が起動するように、工場出荷時に設定されています。CD ボタンを押すと、背面の USB 端子に接続したソースが起動します。

Beo4 では、N.MUSIC ボタンは LIST メニューにあります。Beo4 をご使用の場合、ソース名を変更して、CD ボタンで N.MUSIC 音源を起動できます。別のソースを CD ボタンに既に割当てている場合、N.MUSIC ボタンに再設定できます。

ご使用のミュージックシステムのセットアップによっては、リモコンでオプション設定を変更できます。

ソース名を変更する

何らかの N.MUSIC ソースをリモコンで簡単にオンにするためには、その N.MUSIC ソースを CD ボタンに割り振っておくと便利です。

- > ポインタを使い、MODE を強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、ROLES を強調表示させる。
- > ホイールを回して CD または N.MUSIC を選び、GO を押す。

ご注意!ご使用のミュージックシステムでソース名を CD に変更するとき、Beo4 の CD ボタンをご使用ください。操作手順で N.MUSIC が表示される場合、それを CD に置き換えて考えるようにしてください。

オプション設定

ご使用のセットアップによっては、ミュージックシステムのオプション設定の変更が必要な場合があります。

オーディオシステムのオプション設定…

- > Beo4 の • ボタンを押しながら、LIST を押します。
- > 両方のボタンを同時に放します。
- > LIST を繰り返し押して、Beo4 に OPTION? を表示させて、センターボタンを押します。
- > 上下の操作ボタンを使用して、A.OPT を Beo4 ディスプレイに表示させて、番号(5、4、0)を入力します。*1

ミュージックシステムには、3種類のオプションを設定できます

オプション 5(初期設定)。ミュージックシステムをリモコンで操作する場合に選択します。オプション 4 同じ部屋に 2 つのミュージックシステムがある場合、BeoSound 5 Encore をオプション 4 に設定してください。オプション 4 では、BeoSound 5 Encore はリモコンでのみ操作できます。操作前に、LINK を押してください。*2

オプション 0 ミュージックシステムをリモコンで操作しない場合、オプション 0 に設定すると、本体の操作パネルのみご使用いただけます。

*1 Beo6 のオプション設定の変更については、Beo6 のガイドをご参照ください。

*2 LIST を押して、上下の操作ボタンを使用して、Beo4 ディスプレイに LINK を表示させます。続いて、CD などの音源ボタンを押します。

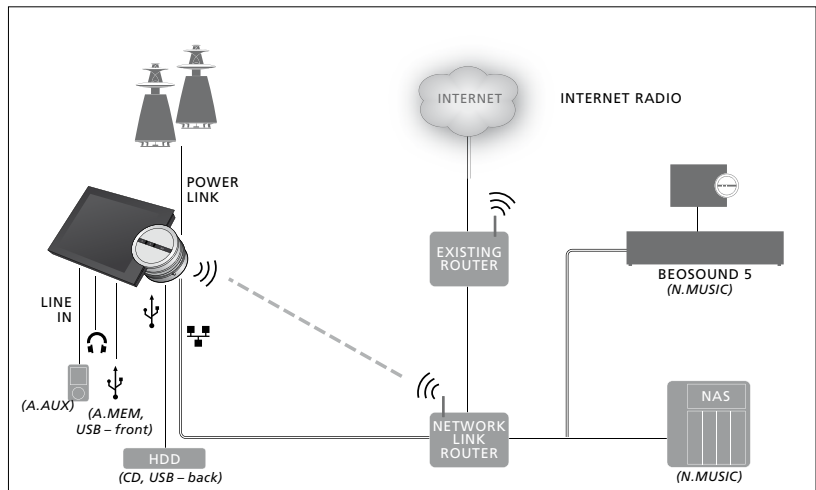
音楽ソースの準備

このシステムは、使いはじめる前にインターネットに接続し、使いたい音楽ソースを使用可能にしておく必要があります。このミュージックシステムは、インターネットラジオ、USBキー/ハードディスクに保存された音楽ファイル、BeoSound 5、NAS (ネットワーク上に置かれた記憶装置)など、様々な音楽ソースに対応しています。

システムのセットアップと音楽ソースの準備は、販売店がお手伝いします。

音楽を再生するには、音楽ストレージを選択する必要があります。[22ページ参照。](#)

ご注意ください! 接続されているNASがご使用になる主な音源の場合、'ソース名'を変更して、Beo4の'CD'ボタンで直接起動できません。[17ページ参照。](#)



このミュージックシステムには、様々な音楽ソースが接続できます。

工場出荷時の初期設定

N.MUSIC = イーサネットのストレージ

CD = USB、背面

USB ソースから音楽を再生する

USB 機器に保存した音楽ファイルを、再生することができます。このミュージックシステムに USB 機器を接続すると、MODE メニューの中に A.MEM として表示されますし、N.MUSIC または CD ソースとして選択することもできます。

この USB 機器が、MODE メニューの中から A.MEM、N.MUSIC、または CD として選択可能になるまで、少し時間がかかることがあります。このミュージックシステムはまず、接続された機器のコンテンツをスキャンするからです。スキャン中、A.MEM、N.MUSIC、CD は、灰色に沈んでいます。

接続した USB 機器の中に、Digital Rights Management (DRM) で保護された音楽ファイルがあった場合、そのファイルは再生できません。

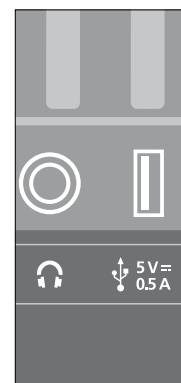
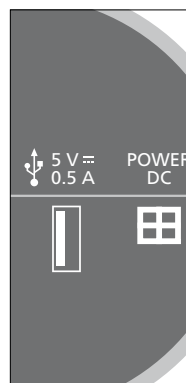
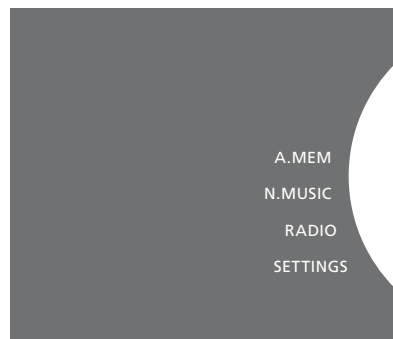
A.MEM または N.MUSIC/CD で音楽ソースをオンにするには…

- > USB 端子の 1 つに、USB 機器を接続する。
- > ポインタを使い、MODE を強調表示させる。
- > ホイールを回して A.MEM、N.MUSIC、または CD を選ぶ。
- > これで、MOTS を含む各カテゴリー内のカバーアート閲覧から、再生したい音楽を選べるようになる。

MOTS は、ミュージックシステムがスタンバイ状態になっている時のみ計算を行なうため、計算を終えるまで少し時間がかかることに注意してください。USB 機器に大量の音楽ファイルが保存されている場合、その量に応じて計算時間も長くなります。

デジタル音楽ファイルに伴う情報の内容によっては、その音楽ファイルが、カバーアートによる整理と表示の対象にならないこともあります。デジタル音楽ファイルについての詳しい情報は、www.bang-olufsen.com/faq にある BeoSond 5 Encore の FAQ (お問い合わせ) をご覧ください。

このミュージックシステムは、MP3、WMA、FLAC など、現在市場にあるほぼすべてのデジタル音楽ファイルフォーマットを再生できます。詳しくは、www.bang-olufsen.com をご覧ください。



このミュージックシステムには、USB 端子が 2 つ準備されています。1 つはディスプレイの下にあり A.MEM ソースに接続され、もう 1 つはシステムの本体裏で N.MUSIC/CD ソースに接続されます。詳しくはスタートアップガイドをご覧ください。

ライン入力ソースの音楽を再生する

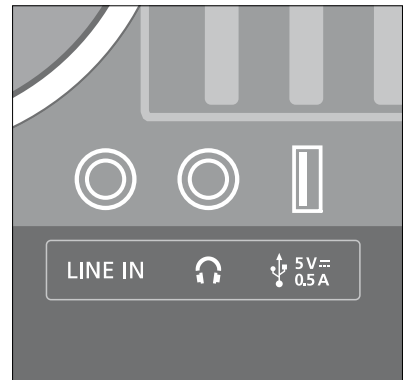
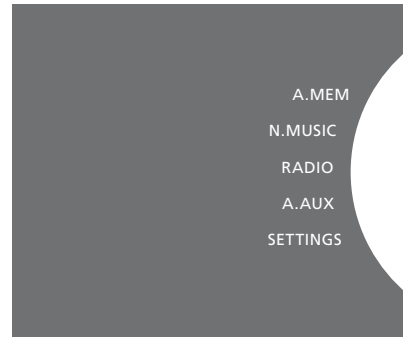
このミュージックシステムには、ポータブルミュージックプレーヤーを接続することもできます。そのためのライン入力用ケーブルは、Bang & Olufsen 販売店から入手できます。

ライン入力ソースをオンにするには…

- > 正しいケーブルを使い、デジタルミュージック機器を LINE IN 端子に接続する。
- > ポインタを使い、MODE を強調表示させる。
- > ホイールを回して A.AUX を選び、GO を押す。
- > 再生したい音楽を、接続したポータブル機器から直接選ぶ。

操作について…

- ライン入力ソースから音楽を再生する時は、選曲、再生開始、停止など、必要な操作はすべてそのポータブル機器側で行ないます。
- 音量の調整は、このシステムとポータブル機器のどちらでも行なえます。
- ライン入力ソースから音楽を再生している間、システムはカバーアートを表示しません。
- ライン入力ソースで再生される音楽に、MOTS 機能は適用されません。



入力ケーブルの端を、ポータブルミュージックプレーヤーのイヤフォン出力端子などに接続し、もう一方をこのミュージックシステムの LINE IN 端子に接続します。詳しくはスタートアップガイドをご覧ください。

インターネットラジオを聞く

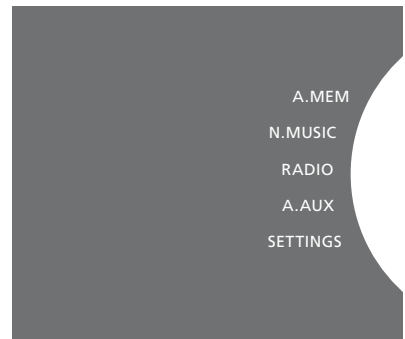
インターネットラジオを聴くには、このミュージックシステムをインターネットに接続する必要があります。接続は Bang & Olufsen 販売店がお手伝いしますが、ネットワーク設定の方法については [15 ページでも説明してあります](#)。

インターネットラジオをオンにするには…

- > ボイントラを使い、MODE を強調表示させる。
- > ホイールを回して RADIO を選び、GO を押す。
- > 聞きたいラジオ局を選び GO を押すと、受信が開始される。

サウンドが聞こえてくるまで、数秒かかることもあります。この秒数は、インターネットへの接続速度、N.RADIO バッファ時間、および接続したラジオ局の状態によって異なります。[N.RADIO のバッファ時間については、14 ページをご覧ください](#)。

お気に入りのラジオ局を、すぐを選ぶようプリセットしておくこともできます。[詳しくは、24 ページにあるカラーリストとナンバーリストの説明をご覧ください](#)。



ネットラジオ局のダウンロードには、少し時間がかかることがあります。ダウンロードの進行状況は、'Loading' というメッセージの左上隅に表示され、ホイールのすぐ横では、小さなインジケーターが灰色の半円に沿って移動していきます。

N.MUSIC ソースの音楽を再生する

このミュージックシステムは、デジタル音楽ライブラリに保存された全ファイルにアクセスできます。デジタル音楽ライブラリは、BeoSound 5、または各種の標準的NAS機器のどちらにでも設けられます。1つ以上の音楽ライブラリを追加しても、まったく問題ありません。音楽ライブラリがあるN.MUSICソースを再生するには、このミュージックシステムをネットワークに接続する必要があります。BeoSound 5を音楽ライブラリとして使用するには、音楽サーバとして機能するようにセットアップしてください。

接続は Bang & Olufsen 販売店がお手伝いしますが、ネットワーク設定の方法については [15ページでも説明してあります](#)。

音楽ライブラリが保存されている機器 (BeoSound 5 または NAS) をオフにしてしまうと、その機器から音楽は再生できなくなります。その機器のスイッチを再びオンにすれば、このミュージックシステムは自動的に音楽ライブラリに再接続します。

N.MUSICをオンにするには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してN.MUSICを選び、GO を押す。^{*1}
- > 聞きたい音楽を選んで GO を押すと、再生が開始される。

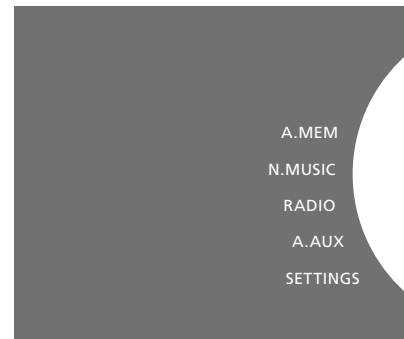
^{1*} Beo4でより簡単なナビゲートを行なうため、N.MUSICをCDに変更している場合は、ここでCDを選ばなければなりません。詳しくは [17ページをご覧ください](#)。

音楽の保存場所は…

N.MUSICを聞くには、どの機器を使うか選ぶ必要があります。

BeoSound 5を音楽ライブラリとして追加するには…

- > BeoSound 5のスイッチを入れ、ポインタを使いモードを強調表示させる。
- > ホイールを回して設定を選んだあと、→ を2回押し、その後GOを押す。
- > ポインタを使い、サービス設定を強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC SERVER を選択し、GOを押します。
- > ホイールを回して「はい」を選び、GOを押す。使っているBeoSound 5 Encoreシステムの中で、BeoSound 5が音楽ライブラリとして選ばれるまで、少し時間がかかることもある。
- > …
- > 使っているBeoSound 5 Encoreミュージックシステムで、ポインタを使いMODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選んだあと、→ を2回押し、その後ミュージックシステム上でGOを押す。
- > ポインタを使い、SERVICE SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC STORAGE を選び、GOを押す。
- > メニュー内のネットワーク上で、ホスト名としてBeoSound 5を強調表示させる。
- > GOを押して選択する。



NASを音楽ライブラリとして追加するには…

- > ポインタを使い、MODEを強調表示させる。
- > ホイールを回してSETTINGSを選んだあと、→ を2回押し、その後ミュージックシステム上でGOを押す。
- > ポインタを使い、SERVICE SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC STORAGE を選び、GOを押す。
- > メニューの中から、使用するNASの名前を選ぶ。
- > GOを押して選択する。

新しい音楽ライブラリを初めて接続した時は、次のようなことが起こります:

- このミュージックシステムが、各音楽ファイルのカバーアートとジャンルを完全に分類し終えるまで、少し時間がかかります。www.bang-olufsen.com および www.bang-olufsen.com/faq にある BeoSond 5 Encore の FAQ (お問い合わせ) をご覧ください。
- MOTS は、デジタル音楽ライブラリに保存された曲を、このミュージックシステムがスタンバイ状態にある時に計算していきます。新しい音楽ライブラリを接続した時は、MOTS が計算を行なえるよう、ある程度のスタンバイ時間を確保してください。音楽ライブラリに保存されている音楽ファイルが多ければ多いほど、計算にも時間がかかります。[MOTS について、詳しくは 25 ページをご覧ください。](#)

NAS に保存された音楽へアクセスするには、その NAS 機器の UPnP/DNLA をオンにしなければいけません。詳しくは、NAS 機器に付属するガイドをご覧ください。

Bang & Olufsen は、数種の最高級 NAS 機器について、このミュージックシステムとのテストを行ない動作を確認しています。最良の性能を得るためには、動作確認済みの NAS 機器だけを使うようお勧めします。詳しくは販売店にお問い合わせるか、www.bang-olufsen.com/faq にある BeoSond 5 Encore の FAQ (お問い合わせ) をご覧ください。

音楽ライブラリを再スキャンする

音楽ライブラリに新しい音楽ファイルを加えたのに、そのファイルをミュージックシステムが自動的に表示しなかったり、誤った情報を表示してしまう場合は、再スキャンを行なってミュージックシステムをアップデートします。

- > ポインタを使い、MODE を強調表示させる。
- > ホイールを回して SETTINGS を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、MAINTENANCE を強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC STORAGE を選び、GO を押す。新しい音楽ファイルを探すため、音楽ライブラリがスキャンされる。

カラーリストとナンバーリストを作成する

個人的なプレイリストを作成することができます。各プレイリストは、赤、緑、黄、黒の4色で分類できます。例えば、家族のそれぞれが、それぞれの色でお好きな曲やラジオ局のリストを作ったり、休日やパーティー用のプレイリストを作ることができます。

また、リモコンを使い簡単に呼び出せるよう、お好きな曲やラジオ局のプレイリストに番号を振ることもできます。

カラーリスト

4色のカラーリストには、複数の曲だけでなくアルバムやラジオ局も含めることができます。4つのカラーリストをN.MUSICソースに、別の4つをRADIOソースに振り分けることができます。

カラーリストを作るには…

- > カラーリストに加えたい曲、アルバム、ラジオ局を選び、GOを押し続ける。
- > ホイールを回し、色を選ぶ。
- > GOを押す。
- > これで、FAVOURITESメニューの中から、またはBang & Olufsen リモコンの適切なカラーボタンを押すことにより、そのカラーリストを選べるようになる。

ナンバーリスト

番号がつけられたナンバーリストには、ラジオ局が1つといくつかのアイテムを含むことができます。アイテムは、曲、アルバム、アーティストのいずれでもかまいませんし、すぐ呼び出せるよう1アイテムを1つの番号に割り振ったり、複数をプレイリストとして1つの番号に割り振ることもできます。ラジオ局を使用済みの番号に割り振った場合、古い番号のコンテンツは新しい番号のコンテンツで置換されます。1つのアイテムを使用済みの番号に割り振った場合は、現在のコンテンツにそのまま追加されます。N.MUSICソース用に99の番号が、RADIO用にも99の番号が使用できます。

ナンバーリストを作るには…

- > ナンバーリストに加えたいアイテムを選び、GOを押し続ける。
- > ホイールを回し、番号を選ぶ。
- > GOを押す。
- > これで、FAVOURITESメニューの中から、またはBang & Olufsen リモコンの適切な番号ボタンを押すことにより、そのナンバーリストを選べるようになる。

MOTS

MOTSは、同じタイプの曲を連続して自動再生する機能です。MOTSは、サウンドやダイナミクス、リズムの特徴といった各音楽的要素の類似性を測定し、同じタイプの曲を連続再生していく‘再生キュー’を生成します。

MOTSを使うと、状況に適した曲が自動的に連続演奏されていきます。最初の1曲を選ぶだけで、同様の曲をMOTSが次々と自動的に演奏していきます。

対象となるソースは一度に1つ

MOTSは、現在演奏中のソースから演奏キューを生成していきます。MOTSが一度に使えるソースは、1つだけです。

MOTSが演奏キューを生成するソースとして、A.AUXまたはN.RADIOは使用できません。

MOTSの計算

MOTSの計算は、サウンド、ダイナミクス、リズムの特徴に基づいており、アーティスト、アルバム、ジャンルといった項目を横断的にサーチしていきます。MOTSは、最後に追加された曲を基準として、どこまでも続く同様の曲の自動演奏リストを生成し、そのリストは、既存のプレイリストの最後に追加することも可能です。

追加された音楽ライブラリや新たに接続されたUSB機器があると、MOTSは、このミュージックシステムがスタンバイ状態にある時に計算を実行していきます。USB機器を接続したり音楽ライブラリを新しく追加したとき、または一度スイッチが切られた機器を再度オンにしたときなどは、MOTSが計算を終えるまで少し時間がかかります。

[MOTSを無効または有効にする方法については、14ページをご覧ください。](#)



MOTSのロゴ

ホイールの横に半円形がライトアップされ、MOTSの計算が進行中であることを示します。

MOTSの計算を中止させるには…

> MOTSの計算が進行中に、スタンバイボタンを4秒以上押し続けると、MOTSの計算が中止される。スタンバイボタンを4秒以内に離すと、現在のMOTSの計算結果が削除される。

MOTSの計算が進行中は、スタンバイインジケータの中で赤いライトが点滅します。MOTSの計算を中止すると、スタンバイインジケータ内のこの光も消えます。